# 第３２回埼玉県産業教育フェア
# 第　１　回　運　営　委　員　会

日時　　令和４年５月１０日（火）
　　１５：００～１６：４０
会場　　ZOOM 会議

## 次　　第

１　開　　会

２　挨　　拶

３　出席者自己紹介

４　委嘱状交付

５　報　　告
（１）全国産業教育フェア報告

（２）委員長、副委員長の選任

６　協　　議
（１）第３２回埼玉県産業教育フェア開催計画等について

（２）運営組織について

（３）主査、副主査の選任

（４）各担当・係の選出及び打合わせ、その他（諸連絡）

７　各係の打合わせ

８　閉　　会（＊各係打合せごとに）

# 第32回埼玉県産業教育フェア運営委員
## 運営委員会議年3回(5/10、6/24、10/7)、準備11/11、フェア11/12
## 各部会会議3回

〔敬称略〕

| No. | 選出部会等 | 氏　名 | 本 務 先 |
|---|---|---|---|
| 1 | 会　長 | 大野　松茂 | 埼玉県産業教育振興会長 |
| 2 | 県経営者協会代表 | 松本　伸一郎 | 株式会社　松本商会代表取締役社長 |
| 3 | 農業部会代表 | 梅澤　仁 | 県立熊谷農業高等学校長 |
| 4 | 農業部会代表 | 垂井　由起夫 | 県立杉戸農業高等学校主幹教諭 |
| 5 | 農業部会代表 | 若林　嘉寿明 | 県立秩父農工科学高等学校教諭 |
| 6 | 農業部会代表 | 柴田　幸義 | 県立熊谷農業高等学校教諭 |
| 7 | 工業部会代表 | 堀口　真史 | 県立浦和工業高等学校長 |
| 8 | 工業部会代表 | 宮﨑　正海 | 県立大宮工業高等学校主幹教諭 |
| 9 | 工業部会代表 | 芳賀　勤 | 県立春日部工業高等学校教諭 |
| 10 | 工業部会代表 | 嶋田　亮二 | 県立熊谷工業高等学校教諭 |
| 11 | 商業部会代表 | 大村　勝幸 | 県立岩槻商業高等学校長 |
| 12 | 商業部会代表 | 五月女佐智子 | 県立熊谷商業高等学校主幹教諭 |
| 13 | 商業部会代表 | 小林　宏 | 県立浦和商業高等学校教諭 |
| 14 | 商業部会代表 | 小島　直記 | 県立所沢商業高等学校教諭 |
| 15 | 家庭・看護・福祉部会代表 | 池田　靖 | 県立新座総合技術高等学校長 |
| 16 | 家庭・看護・福祉部会代表 | 星　千恵子 | 県立新座総合技術高等学校教諭 |
| 17 | 家庭・看護・福祉部会代表 | 大久保　理沙 | 県立誠和福祉高等学校教諭 |
| 18 | 家庭・看護・福祉部会代表 | 柴田　江美子 | 県立常盤高等学校教諭 |
| 19 | 中学校技術・家庭科部会代表 | 山口　聡 | さいたま市植水中学校長 |
| 20 | 副理事長 | 田中　邦典 | 県立学校部高校教育指導課長 |
| 21 | 会長推薦理事 | 杉田　和明 | 県立学校部高校教育指導課教育指導幹 |
| 22 | 会長推薦理事 | 髙橋　正行 | 県立学校部高校教育指導課主幹 |
| 23 | 会長推薦理事 | 原口　真理子 | 県立学校部高校教育指導課指導主事 |
| 24 | 会長推薦理事 | 中田　力哉 | 県立学校部高校教育指導課指導主事 |
| 25 | 会長推薦理事 | 小泉　仁 | 県立学校部高校教育指導課指導主事 |
| 26 | 会長推薦理事 | 高橋　秀夫 | 県立学校部高校教育指導課指導主事 |
| 27 | 会長推薦理事 | 笹嶋　京子 | 市町村支援部義務教育指導課指導主事 |
| 28 | 会長推薦理事 | 林　裕人 | 市町村支援部義務教育指導課指導主事 |
| 29 | 会長委嘱運営委員 | 谷　貴美 | 県立総合教育センター指導主事兼所員 |
| 30 | 会長委嘱運営委員 | 大橋　亨 | 県立総合教育センター指導主事兼所員 |
| 31 | 会長委嘱運営委員 | 劔持　幹子 | 県立総合教育センター指導主事兼所員 |
| 32 | 会長委嘱運営委員 | 木塚　綾子 | 県立総合教育センター指導主事兼所員 |
| 33 | 会長委嘱運営委員 | 加藤　敦 | 県立総合教育センター指導主事兼所員 |
| 34 | 会長委嘱運営委員 | 清野　耕平 | さいたま市教育委員会学校教育部指導１課指導主事 |

資料１

# 第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会

## １ 目的

○ 全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・ 関心を高める。

○ 新たな産業教育の在り方を探り、新しい時代に即した専門高校等における産業教育の活性化を図り、その振興に資する。

## ２ 大会概要

### ⑴ 開催日・場所

○ 令和３年１０月３０日（土）

○ ウェスタ川越、埼玉県立川越総合高校

○ キャッチコピー「夢と技術　彩の国から未来へ」

○ オープニングアトラクション

秩父農工科学高校「秩父屋台囃子保存部（ちちぶやたいばやしほぞんぶ）」による秩父屋台囃子（ちちぶやたいばやし）

熊谷商業高校「バトン部」によるダンス

秩父屋台囃子

バトン部によるダンス

### ⑵ 主な実施内容

○ ファッションショー

新座総合技術高校 服飾デザイン科生徒

ファッションショーの様子

○ 講演

株式会社マザーハウス

代表取締役社長兼チーフデザイナー　山口 絵理子 氏

演題「志をかたちに　一歩踏み出す勇気

～途上国から世界に通用するブランドをつくる～」

山口氏講演の様子

○ 生徒交流イベント

Google for Education

アジア太平洋地域マーケティング統括部長 ミラー スチュアート 氏

テーマ「これからの学びについて」

～産業教育を学ぶ高校生に必要なスキルとは？～

生徒交流イベントの様子

○　作品展示（※参加校８７校）

・幸手桜高校による動画配信
　幸手市について、学校紹介、地域とのつながり、生徒作品紹介　他

作品展示の動画配信①

作品展示の動画配信②

作品展示（ＨＰのＱＲコード）

○　体験動画

・　会場で実施する予定だった体験をホームページから紹介

体験紹介動画のレイアウト図（ＨＰ）

○　企業連携による体験コーナー

・　「渋沢栄一の軌跡ＶＲ（仮想現実）体験」
　　リコージャパン株式会社＆浦和工業高校、浦和商業高校

・　「こどものくにＶＲ（仮想現実）体験」
　　リコージャパン株式会社＆浦和工業高校、鴻巣女子高校

渋沢栄一の軌跡ＶＲ体験の様子

○　ネット販売（全国の参加専門高校２６校のうち県内参加校８校）

・　秩父農工科学高校　「第３のみつ（はちみつ）」「いちごジャム」

・　川越総合高校　　「たましゃもカレー」

・　深谷商業高校
「渋沢栄一翁が愛したオートミールクッキー」　他

○　作品・研究発表

・　進修館高校「行田學における３年間の取組」　他

こどものくにＶＲ体験の様子

○　意見・体験発表

・ 常盤高校

「２食でも効果的エネルギーを摂取できるメニューを提案します！」 他

○　彩の国商業高校生渋沢栄一シンポジウム

県内の商業高校生による渋沢栄一翁の研究の成果発表

埼玉大学教授によるシンポジウムの開催

○　各種コンテスト・競技大会 等

・ 第２０回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト

・ 第２９回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会

・ 第４１回全国高校生プログラミングコンテスト

・ 全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト

・ 全国高校生クッキングコンテスト

・ 全国高校生介護福祉研究発表会

・ 夢の電車イラスト・アイデア弁当コンテスト

フラワーアレンジメントコンテスト審査会

ロボット競技大会表彰式

夢の電車イラストコンテスト
埼玉県教育委員会教育長賞作品

アイデア弁当コンテスト
埼玉県教育委員会教育長賞作品

クッキングコンテスト表彰式

## ３　成果と次年度以降の埼玉県産業教育フェアに向けて

### ⑴　成果

○　多チャンネルでのＬＩＶＥ配信及び大会後のアーカイブ配信による、新しいイベントスタイルの確立

○　ＶＲを取り入れた体験

○　ジャムや缶詰など生徒の学習成果物のネット販売（※全国に発送）

○　大会ＨＰから、大会後の全国の専門高校等の取組を発信

大会ホームページ

※　大会参加者

- 大会当日の参加者
  約１.２万人（※ＨＰアクセス数　8,570　ＬＩＶＥ配信視聴者数　2,150 人）
- 大会後のＨＰアクセス数　21,807 件
  （※令和３年 11 月１日（月）～令和３年 12 月 15 日（水））

### ⑵　次年度以降の埼玉県産業教育フェアに向けて

○　作品展示、発表会等、オンライン配信可能なプログラムと集合型で実施するプログラムのハイブリッド型開催の検討

○　他会場をつないでのＬＩＶＥ中継など、多くの方が参加できる体制づくり

○　企業連携など、専門高校生等が、最先端の技術に触れる機会の確保

○　戦略的な広報活動の継続及び更なる工夫・改善（ターゲット層、場所、時間、タイミング等）

（※本大会で実施した広報活動）

- ツイッターの開設
- テレビ埼玉の出演（ニュース、情報番組）
- TOKYO FM、NACK５のラジオＣＭ
- ダイジェスト版での番組放送　　他

テレビ番組での出演の様子

ツイッターの開設

資料２

第31回全国産業教育フェア埼玉大会

専門高校等の生徒による
学習成果発表の祭典

# さんフェア埼玉2021

## 大会報告書

夢と技術
彩の国から未来へ

令和3年
10月30日(土)
オンライン開催

特設サイト●配信期間
令和３年10月中旬
▼
令和４年３月末日

配信会場●ウェスタ川越(メイン会場)
●埼玉県立川越総合高等学校

【ポスター原画】埼玉県立川越工業高等学校　デザイン科　三ッ目　彩花　（令和2年度 卒業）
【キャッチコピー】埼玉県立川越工業高等学校　デザイン科　大河原　友那　（令和2年度 卒業）
【ロゴ・イラスト】埼玉県立新座総合技術高等学校　デザイン専攻科　中野　愛　（令和2年度 修了）

こころ、咲いたまま。
SAITAMA 150 150th ANNIVERSARY

特別協賛　東京工科大学　日本工学院　公益社団法人全国工業高等学校長協会　公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部

主催　第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会、文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、埼玉県産業教育振興会

共催　川越市、川越市教育委員会

問合せ先　第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内）
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂３丁目 15 番１号　TEL：048-830-6769　FAX：048-830-4959

# 第31回全国産業教育フェア埼玉大会 開催日程

| 開催方法 | 会場 ＼ 日程 | 令和3年10月30日(土) 9時30 | 10時30 | 10時30〜45 | 11時〜30 | 11時30〜45 | 12時〜30 | 12時30〜45 | 13時〜30 | 13時30〜45 | 14時〜15 | 14時15〜30 | 15時〜30 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オンライン開催 | ウェスタ川越 大ホール | オープニングアトラクション | 表彰式 開会式典 | | ファッションショー(家庭) | | 講演 | | 生徒交流イベント(生徒実行委員会) | | 閉会式典 | メモリアルアトラクション | |
| 事前招待型開催(各校代表生徒) | ウェスタ川越 大ホール前ホワイエ(2F) | 高校生によるサイエンスフェア(同時開催) 各部会紹介展示 VR・工業部会 | | | | | | | | | | | |
| | ウェスタ川越 多目的ホール(1F) | 体験会場①(工業部会・家庭・看護・福祉部会) | | | | | | | 体験会場①(工業部会・家庭・看護・福祉部会) | | | | |
| | ウェスタ川越 第1・2・3会議室(1F) | 体験会場②(VR体験・企業連携) 招待型開催中止 一部関係者のみ | | | | | | | 体験会場②(VR体験・企業連携) | | | | |
| | ウェスタ川越 活動室1・2(2F) | 体験会場③(農業部会) | | | | | | | 体験会場③(農業部会) | | | | |
| | ウェスタ川越 会議室1・2(2F) | 体験会場④(商業部会) | | | | | | | 体験会場④(商業部会) | | | | |
| オンライン開催 | ウェスタ川越 小ホール(2F) | 文部科学省事業発表会(全国) | | | | | | | | | | | |
| | ウェスタ川越 活動室3(2F) | 全国高校生クッキングコンテスト | | | | 夢の電車イラストコンテスト アイデア弁当コンテスト | | | 全国高校生介護福祉研究発表会 | | | | |
| | ウェスタ川越 活動室4(2F) | 作品・研究発表(全国) | | | | | | | 意見・体験発表(全国) | | | | |
| | ウェスタ川越 研修室1(3F) | 全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト | | | | | | | 全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト | | | | |
| | ウェスタ川越 研修室2・3(3F) | 第29回全国高等学校ロボット競技大会 | | | | | | | 第41回全国高校生プログラミングコンテスト | | | | |
| | ウェスタ川越 研修室4(3F) | 彩の国商業高校生渋沢栄一シンポジウム | | | | | | | | | | | |
| | 高川等越学総校合 第1情報処理室 設計実習室 明星館 | 第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト | | | | | | | 第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト | | | | |

※開催内容につきましては、都合により変更になる場合があります。
※一般来場はございませんので御注意ください。

《大会ホームページ URL》
https://sanfair2021.spec.ed.jp/

埼玉県マスコット「コバトン」

資料３

# 第３２回埼玉県産業教育フェア開催要項

１　目　的

埼玉県産業教育フェアは、専門高校等の生徒による学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上を図るとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高めることを目的に開催する。

２　主　催

埼玉県教育委員会、埼玉県産業教育振興会

３　共　催

（公財）埼玉県産業文化センター、（公財）埼玉県産業振興公社
（一社）埼玉県経営者協会

４　期　日

令和４年１１月１２日（土）　※１１月１１日（金）準備

全国産業教育フェア埼玉大会を踏まえ、埼玉県産業教育フェアではハイブリット開催を実現し魅力を凝縮して発信します。参集型及びネット配信の利点を生かし、埼玉県産業教育の魅力を広く県民に関心と理解を高めます。

５　会　場

ソニックシティ：地下展示場、イベント広場、鐘塚公園、市民ホール
Ｗｅｂページ

６　内　容

会場（参集）

（１）専門技術等の学習体験
（２）企業と連携した体験企画
（３）生徒が製作した作品紹介及び販売
（４）各種競技会・発表会等
（５）同時開催（サイエンスフェア）

Ｗｅｂ

（１）各挨拶等
（２）専門高校等学校紹介及び研究発表等
（３）ファッションショー（ネット配信）
（４）各種競技会・発表会等

7　運営組織

（1）運営委員会に、「総務担当」、「会場担当」を設ける。また、それぞれの担当内に関係する係を設ける。運営委員会は、全体的な企画、連絡・調整を行う。

（2）「農業」、「工業」、「商業」、「家庭・看護・福祉」部会を設ける。部会ごとに専門性を生かした企画、運営を行い、担当の運営委員がとりまとめる。

（3）生徒実行委員会を設ける。生徒実行委員は生徒の代表として埼玉県産業教育フェアの企画、運営に携わる。

（4）実施についての具体的な内容は、各委員会･部会において定める。

8　埼玉県産業教育フェア名を冠した大会

各部会からの希望に応じて、冠大会を開催する。

9　広報活動

（1）チラシ、リーフレットの制作及び配布（データ）

・制作に必要な資料は各部会が集約し、提供する。

・義務教育指導課と連携を図り、小中学校にチラシやリーフレットを電子で配布し、積極的に活用していただく。

（2）その他

・広報誌やマスコミ等を活用して、幅広くＰＲ活動を行う。また、専門高校等もＰＲ活動に協力していただく。

# 第３２回埼玉県産業教育フェア運営組織について

1　「運営委員会」の中に次の担当及び部会を置く。　＊（　）内は所属　☆は係チーフ

| 役　割 | | 内　容 | 担当者 |
|---|---|---|---|
| 総務 | 〔大村校長〕主査（岩槻商業）、〔山口校長〕副主査（さいたま市植水中学校） | | |
| | ○広報係<br>〔中田〕<br>〔小泉〕<br>〔宍戸〕 | ・広報活動における計画、運営<br>・産業教育フェア（全体・各部会）の<br>ホームページの企画・設計・制作・実装<br>・公開・運用<br>・挨拶や紹介動画等の撮影・編集<br>・デジタルチラシ・パンフレットの計画・<br>作成・配布計画等 | ☆〔大久保〕委員（誠和福祉）<br>〔若林〕委員（秩父農工）<br>〔小林〕委員（浦和商業）<br>〔小島〕委員（所沢商業）<br>事務局<br>〔笹嶋〕（義務教育指導課）<br>〔林　〕（義務教育指導課）<br>〔釼持〕（総合教育センター）<br>〔加藤〕（総合教育センター） |
| | ○生徒実行委員係<br>〔原口〕<br>〔中澤〕 | ・生徒実行委員会の運営<br>・オリジナル企画、運営指導<br>・開催テーマ決め<br>・来賓接待、会場案内<br>・その他、生徒実行委員に関わる全般指導 | ☆〔芳賀〕委員（春日部工）<br>〔星　〕委員（新座総合）<br>事務局<br>〔木塚〕（総合教育センター） |
| 会場 | 〔堀口校長　〕主査（浦和工業）、〔池田校長〕副主査（新座総合） | | |
| | ○会場係<br>〔高橋〕<br>〔青木〕 | ・職員、生徒動員計画<br>・会場割当計画<br>（地下展示場、イベント広場、鐘塚公園）<br>・会場設計図作成<br>・全体及び各部会の内容（展示等）の集約<br>→　チラシ掲載基礎データの集約<br>・全体及び各部会の必要備品集約<br>・搬入出計画調整<br>・物販等の集約、出店計画、<br>・その他、会場に関わる全般 | ☆〔宮崎〕委員（大宮工業）<br>〔五月女〕委員（熊谷商業）<br>〔嶋田〕委員（熊谷工業）<br>〔柴田〕委員（常盤　　）<br>☆〔垂井〕委員（杉戸農業）<br>〔柴田〕委員（熊谷農業）<br><br>事務局<br>〔大橋〕（総合教育センター）<br>〔谷　〕（総合教育センター） |

２ 生徒実行委員
・運営委員の高校から２名ずつ選出。
（生徒実行委員会に出席。生徒実行委員会は、原則として運営委員会と同じ日に開催。）
・生徒実行委員は、広報活動及び受付、会場案内等の役割を行う。また、他にオリジナル事業の企画・運営を行う。

３ 「農業」、「工業」、「商業」、「家庭・看護・福祉」部会を設ける。

| | 内　　容 | 担当者 |
|---|---|---|
| 各部会 | ・企業等との連携によるブース<br>・部会ごとに企画・運営<br>（展示、体験学習、発表、各種コンテスト　等）<br>・ホームページ素材の提供<br>・ファッションショー　等 | 部会代表を中心 |

４　事務局役割分担
・全体計画（時間割、事業所ブースの設置、搬出入関係、駐車場、イベント計画など）に係わること。
・来賓対応に関すること。
・市教育委員会との連携に関すること。
・広告作成、配布（メディア対応、リーフレットデザイン募集、）に係わること。
・集客計画、救護計画、避難計画、入場者数の把握に関すること。
・記録、報告に関すること。
・運営実行委員会、生徒実行委員会（通知、進行計画など）に係わること。
・冠大会、予算執行に係わること。
・協賛、出展依頼、共催、後援依頼に係わること。
・サイエンスフェアとの連絡調整に係わること。
・その他